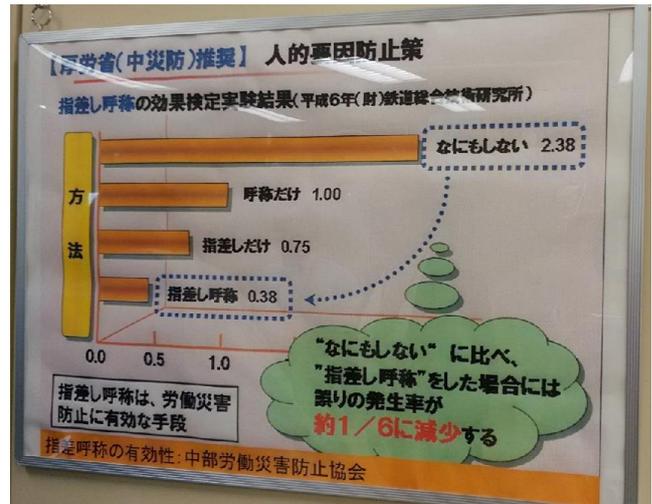


名称	三洋化成株式会社 安全教育センター
場所	愛知県東海市新宝町 31-1 最寄り駅：JR 東海道線・大高駅または名鉄常滑線太田川駅
内容詳細	<p>三洋化成の安全研修センター設置の背景</p> <p>① 自動化・機械化が進歩（技術のブラックボックス化。簡単な故障でも、自分では復旧できないこともある）</p> <p>② 労働環境の改善（海外への技術移転、業務のアウトソーシング化、協力会社の増加など）</p> <p>③ ベテラン社員の定年退職（経験が伝承されない）</p> <p>などから、「危険」に対する感受性の低下、「現場力」の低下が起きている。</p> <p>2009年、ムダ・ムラを防ぎ、抜本的な生産性向上運動「生産革新」がスタートしたが、生産革新を進めるうえで、安全が置き去りにされてはならないとの考えから、メーカーの使命である安全操業を続けていくための教育を行う施設として、2012年開設された。</p> <p>危険回避に必要な要素は、知識（技能）、経験、規律（秩序）と考えられており、従来のOJTに加えて、危険体感教育、カットモデルの設置、過去の事故事例教育などを行い、事故の予兆を見逃がさないまた、危険感受性のupを図ってきたが、2014年、新たに「実践想定型模擬プラント」を設置した。トラブルシューティング、設備・プロセスの原理原則の理解、制御ロジックなどを学ぶことができる。</p> <p>現場での「想定」、「気付き」のレベルを上げるとともに、いかにして「危険回避行動」をとるかを目標に、「危険体感」「技能教育」及び「徹底と相互啓発」を行っているとのこと。「徹底と相互啓発」は、三洋化成生産部門の行動規範雄一つであり、課題解決のためにその障害となるものを根こそぎ排除（徹底）し、お互いが尊敬しあいながら悪いこと、良いことについて意見を出し合い、正しい方向へ導きあう（相互啓発）ことで、みなが当たり前に行えることを目指している。</p> <p>相互啓発活動の一つとして、イエローカード、グリーンカードがある。相手の行動に不満な時、直してほしいことがあるときは、記名の上、イエローカードを提出。もらった本人は、コメントを付して、戻す仕組み。相手の行動に満足しているときは、グリーンカード。カードの出し入れは、担当部署で管理している。開始以来、10年ほどが経過し、カードの数は減ってきている。</p> <p>2012年の開設以来、約3年4か月の教育実績は、社員1,451、協力会社員288、来客・見学者992となっている。なお、海外事業所にも危険体感設備があり、海外からの研修参加もある。</p>

実際の設備を紹介する。

指差呼称体験

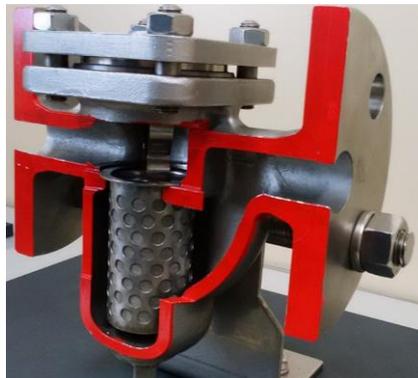
指差呼称による事故の減少は知られており、それを体感できる。画面に表示される位置のボタンを押すものであるが、表示秒数やボタンの位置表示に種類があり、難易度が選べるが、被検者が、興味を失わない程度の難易度を選んでいるとのこと。



その他、粉塵・液剤爆発、Vベルト・高速及び低速ローラー巻き込まれ、油圧プレス挟まれ、感電体験、静電着火、過電流発煙などがある。

事故事例の掲示もあり、海外事業所からの参加もあるため、英文表示も併設されている。

各種バルブのカットモデルなどがあり、その内部構造や作動原理を学ぶことができる。



実践定型模擬プラント



水を用いて、仕込み、昇温・冷却、移送、吸着・ろ過、蒸留工程を、コンピュータ制御で行い、プラントの基本とともに技術習得を目指す。なお、講師は、トラブルを仕掛けており、トラブルシューティングにより、現場力の養成も行っている。
講師は、日々、新しい設備を開発・研究している。

公開状況

原則、非公開
なお、更に設備を充実させ、5年後をめぐりに一般公開の準備を進めている

ここもお勧め！

トヨタ産業技術記念館（名古屋市西区則武新町 4-1-35）
繊維機械館と自動車館があり、多くの歴史的な展示物があり、トヨタの歴史、日本の自動車の歴史を見ることができる。65歳以上、無料。
ノリタケミュージアムとの共通入場券あり。



繊維機械館での糸紡ぎの実演



自動車館では、自動車の展示の他、部品作りの機械動作展示もある

見学日、記録

2016.9.21、三谷（記）